Japanese Congress for Infrastructure Management

インフラメンテナンス国民会議

北海道フォーラム

ファクトブック２：R5年度～

（表紙裏）

Ⅰ　インフラメンテナンス国民会議設立の背景

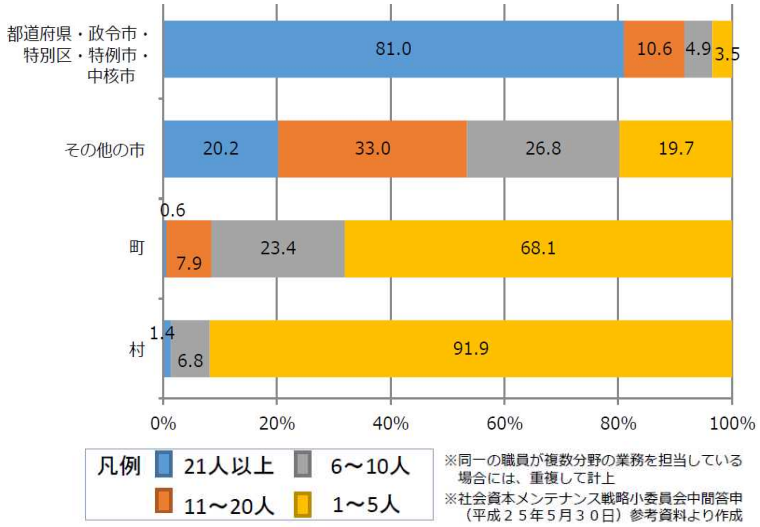
○戦略的な維持管理・更新を行っていくための課題
- 厳しい財政状況における維持管理・更新に係る予算の確保
- 保有量、老朽化度合い等の把握
- 大部分の社会資本を管理している地方公共団体における職員の不足
- 維持管理・更新を支える建設業等のメンテナンス産業の更なる活性化
- 地域の担い手の確保

▼社会資本の維持管理・更新費の将来推計

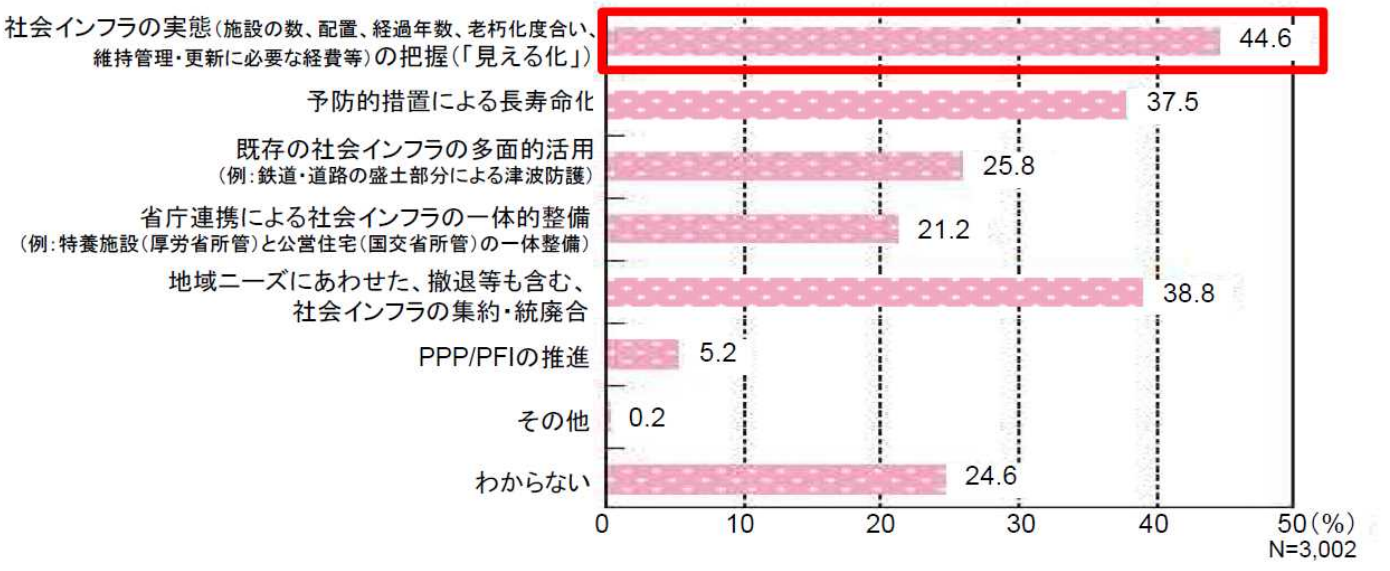
年度	維持管理・更新費（推計）
2013年度	約3．6兆円
2023年度	約4．3～5．1兆円
2033年度	約4．6～5．5兆円

（※出典：国土交通白書2015）

▼維持管理・更新を担当する職員数



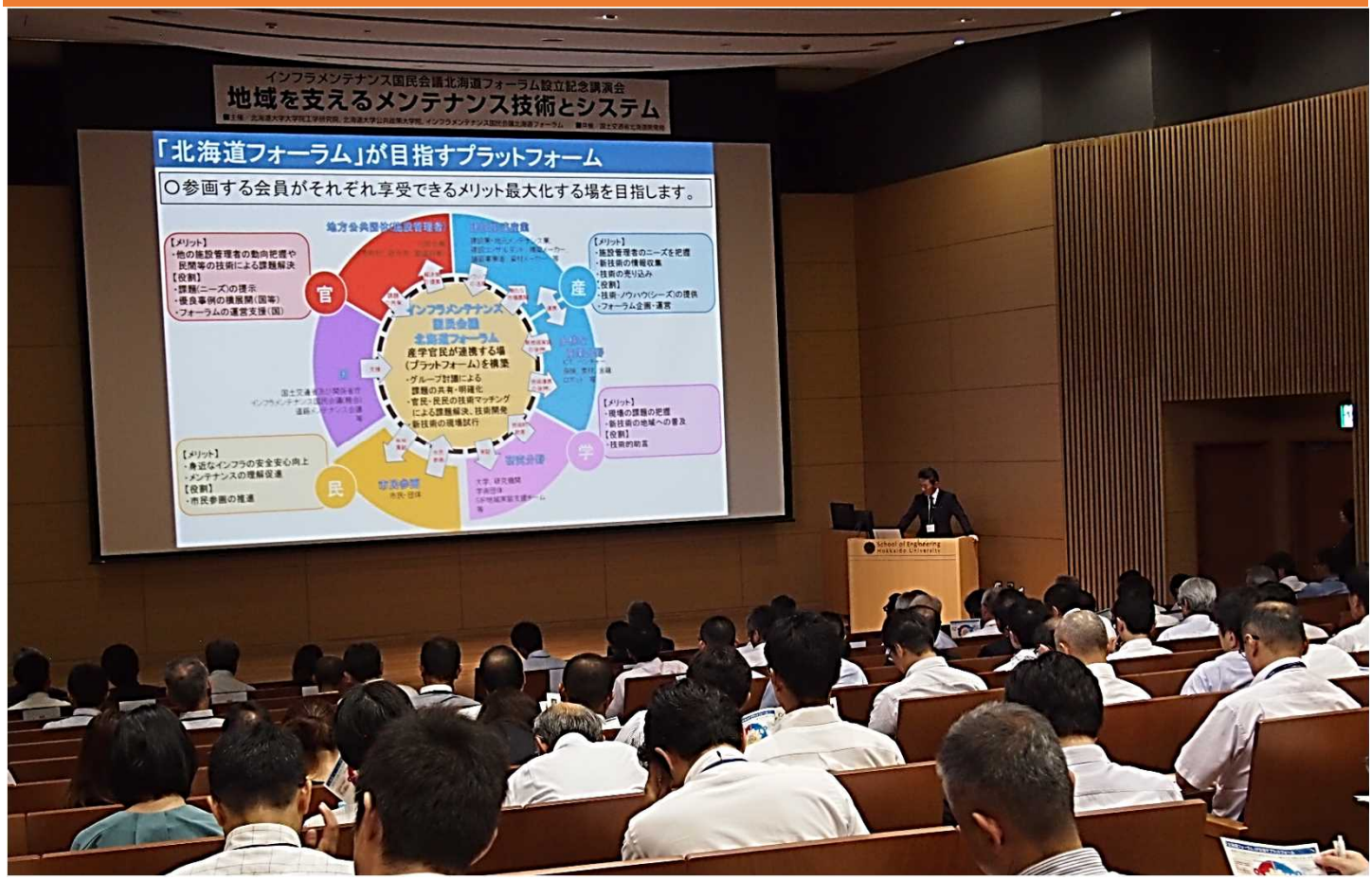
▼国民意識調査の結果（インターネットアンケート）



国土交通省「国民意識調査（インターネットアンケートH26.2）」より
出典：平成25年度国土交通白書

⇒政府は、社会全体として、この課題に取組むプラットフォームの創出が必要と判断し、
国土交通省が主導し国民会議の設立へ

Ⅱ　設立・組織体制



↑インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立記念講演会より
（2018.8.22@北海道大学）

２０１８年３月２７日に、インフラメンテナンス国民会議の地方フォーラムとして、正式に位置づけられ、「インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム」が設立された。北海道フォーラムは、メンテナンス分野に関心のある３０の企業・団体が参画し、北海道におけるインフラメンテナンスの課題解決の後押し等に取り組んでいる。

北海道フォーラム・リーダー

北海道大学大学院工学研究院
高野　伸栄　教授

・北海道は厳しい気象環境、広大な管理面積等インフラメンテナンスを巡る環境は他より厳しい。

・産学官民の強い連携力で、北海道におけるインフラメンテナンスの充実を図っていきたい。

北海道フォーラム　設立までの歩み

平成24年 7月25日　国土交通大臣から社会資本整備審議会会長及び交通政策審議会会長あて
「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の諮問
平成24年 7月31日　第９回社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会
社会資本メンテナンス戦略小委員会の設置
平成24年12月 2日　中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故

平成25年　　「社会資本メンテナンス元年」として位置付け

平成25年 1月30日　社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言
「本格的なメンテナンス時代に向けたインフラ政策の総合的な充実
～キックオフ「メンテナンス政策元年」～」（大臣への手交）
平成25年10月 4日　インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議設置
平成26年 5月21日　社会資本の老朽化対策会議
「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）」決定
平成27年 6月30日　「日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-」閣議決定
インフラメンテナンス国民会議（仮称）の設立位置付け
平成28年 6月　2日　「日本再興戦略2016-第４次産業革命に向けて-」閣議決定
インフラメンテナンス国民会議（仮称）の設置位置付け

平成28年11月28日　インフラメンテナンス国民会議設立

平成29年10月　2日　北海道メンテナンスフォーラム（仮称）参画企業・団体公募
平成29年12月26日　北海道メンテナンスフォーラム（仮称）第１回準備会
平成30年　1月15日　北海道メンテナンスフォーラム（仮称）第２回準備会

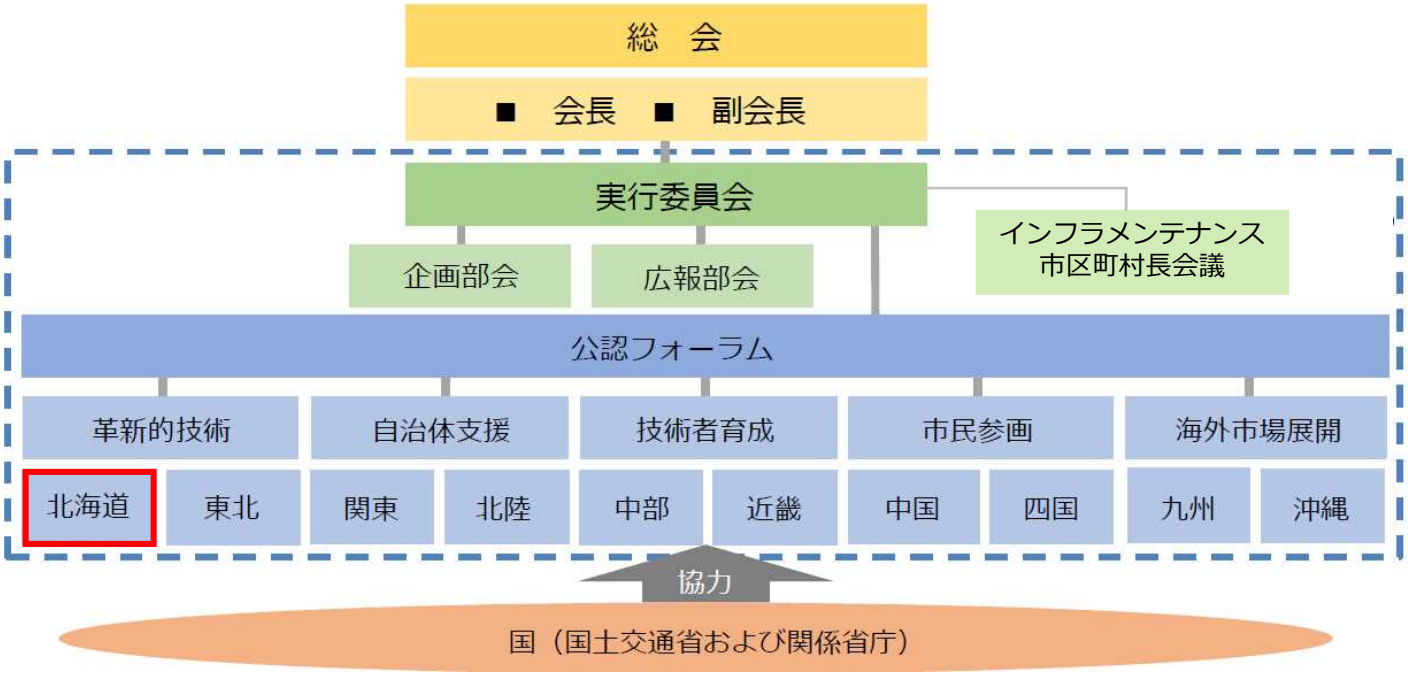
平成30年　3月　2日　北海道メンテナンスフォーラム（仮称）発足会議（荒天のため中止）
メール等で対応
平成30年　3月20日　インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム公認申請

平成30年　3月27日　インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立

↑第１回準備会
（2017.12.26@北海道開発局）

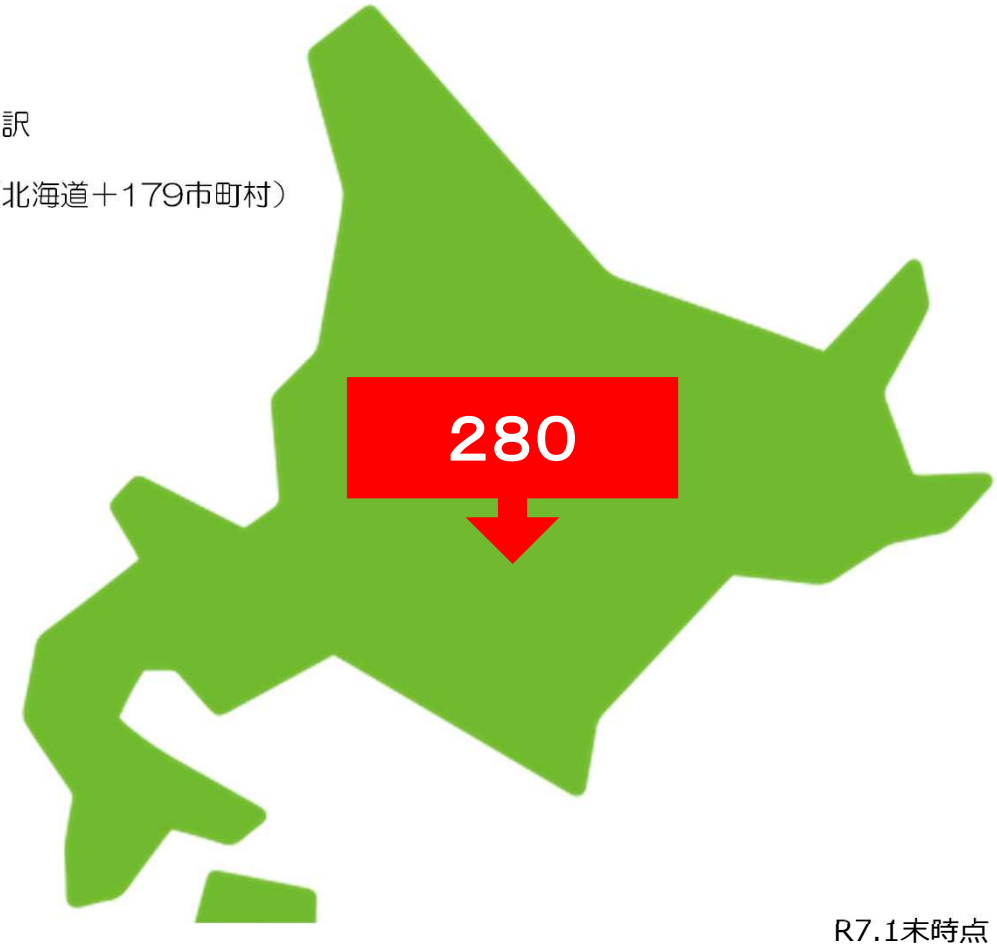
↑第２回準備会
（2018.1.15@北海道開発局）

北海道フォーラム　推進体制①



インフラメンテナンス国民会議　会員数
※企業・団体会員＋行政会員＋個人会員

北海道における会員数内訳
　企業会員数：７８
　行政会員数：１８０（北海道＋179市町村）
　団体会員数：４
　個人会員数：１８
　合　　計　：２８０



R7.1末時点

北海道フォーラム　推進体制②

北海道フォーラムは、当面、フォーラムリーダー、企画委員長ほか、３０の企業・団体が、それぞれ５つの分野と３つの担当に分かれて活動を推進。

全体の運営ルールの策定や活動方針、具体のイベント企画などを検討。

■フォーラムリーダー　北海道大学大学院工学研究院　高野　伸栄　教授
■企画委員長　（一社）北海道建設業協会　栗田　悟　副会長

		総括	分野グループ				
			①道路構造物	②水インフラ他施設	③舗装	④公共施設・住宅	⑤自治体支援
担当グループ	企画担当	㈱ドーコン	㈱構研エンジニアリング、㈱シビテック	㈱ノース技研勇建設㈱	ニチレキ㈱	積水ハウス㈱	西江建設㈱
	自治体担当	伊藤組土建㈱	コンクリート・鋼構造物超耐久化工法研究会、大日本ダイヤコンサルタント㈱、㈱メイセイエンジニアリング	㈱東京設計事務所	㈱土木技術コンサルタント、西江建設㈱、東亜道路工業㈱	北電総合設計㈱、㈱開発工営社	西松建設㈱、伊藤組土建㈱
	企業担当	岩田地崎建設㈱	㈱中山組	北王コンサルタント㈱	伊藤組土建㈱、地崎道路㈱	サンエスホールディングスグループ	㈱ティーネットジャパン、NPO法人公共環境研究機構、嵯峨秀栄測量設計㈱

北海道フォーラム代表者会議

【決定事項】
■フォーラム全体の活動方針や運営に関すること
・周知活動方法・活動計画・活動報告など
【組織体制】
・フォーラムリーダー、企画委員長　総括担当委員、企画担当委員

総括担当・企画担当会議

【決定事項】
■フォーラム企画（開催スケジュール、テーマ設定）■記録■広報
【組織体制】
・総括担当委員、企画担当委員

グループ会議

【打ち合わせ事項】
■ニーズ、シーズを踏まえた具体的な活動内容の検討
■新たなニーズ、シーズ発掘の必要性検討

①道路構造物　②水インフラ他施設　③舗装　④施設・住宅　⑤自治体支援

【組織体制】・各企画委員・各委員

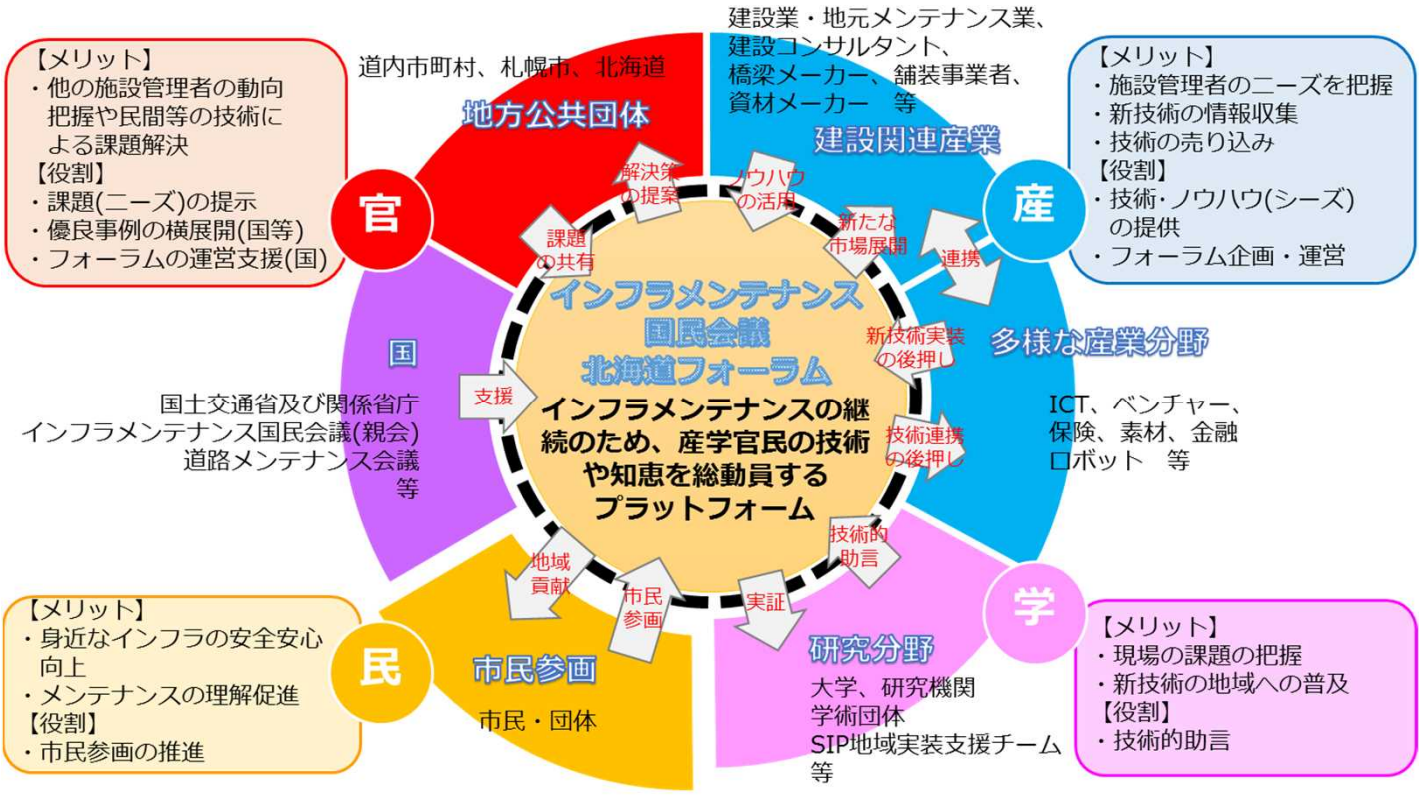
北海道フォーラムの目的

インフラメンテナンス国民会議の目的

- 革新的技術の発掘と社会実装
- 企業等の連携の促進
- 地方自治体への支援
- インフラメンテナンスの理念の普及
- インフラメンテナンスへの市民参画の推進

北海道フォーラムが目指す姿

～産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォーム～



Ⅲ　Ｈ３０－Ｒ６年度活動報告

イベント開催状況（H30～R3）

Ｈ３０年８月の設立記念シンポジウムを皮切りに、全30回のイベントを開催。
参加者延べ数約3,200名、参加自治体職員延べ数約660名に上った。

日付	開催地等	コンテンツ
H30.8.22	札幌市	北海道フォーラム設立記念講演会
H30.9.21	札幌市	自治体アンケート報告※
H30.10.25	千歳市	路面点検の効率化、ＭＰＭの社会実装について
H30.11.21	札幌市	公的賃貸住宅における民間ノウハウ活用について
H30.11.27	札幌市	維持管理における衛星データ活用について
H31.1.31	帯広市	ＳＩＰ研究成果の社会実装について
H31.2.23	函館市	ＳＩＰ研究成果の社会実装について
H31.3.4	旭川市	ＳＩＰ研究成果の社会実装について
R1.7.31	釧路市	インフラ・アセットマネジメントについて
R1.8.29	稚内市	インフラ・アセットマネジメントについて
R1.11.20	宮城県	防災に強いまちづくり等シーズ視察
R1.11.25	札幌市	上下水道におけるインフラメンテナンス
R2.2.18-	札幌市	インフラメンテナンスパネル展示
R3.1.25	オンライン（オホーツク地方）	オンラインシンポジウム「地方でのインフラメンテナンスを考える」
R3.2.9	オンライン	インフラメンテナンス技術（舗装）講習会
R3.3.25	オンライン	オンラインシンポジウム(自治体企画財政部門の方の講演会)『老朽化するインフラをどう未来につなぐか』
R4.2.2	オンライン（胆振・日高地方）	オンラインシンポジウム「地方でのインフラメンテナンスを考える」
R4.2.24	オンライン	インフラメンテナンス技術（舗装）講演会
R4.3.17	オンライン	オンラインシンポジウム(自治体企画財政部門の方の講演会)『老朽化するインフラをどう未来につなぐか』

※H30.9.21のイベントは、北海道胆振東部地震の影響から、フォーラムメンバーのみの参加としました。

Ⅲ　Ｈ３０－Ｒ６年度活動報告

イベント開催状況（R4～R6）

日付	開催地等	コンテンツ
R4.8.30	長万部町	下水道管路の点検・調査ドローンデモンストレーション
R4.10.21	オンライン	ICTの活用とDXへの取組講演会（共催：札幌市設計同友会）
R4.10.24	浦臼町	建物診断セミナー
R5.2.2	オンライン	オンラインシンポジウム 「地方でのインフラメンテナンスを考える」
R5.3.24	オンライン	オンラインシンポジウム 『老朽化するインフラをどう未来につなぐか』
R5.9.12	帯広市	下水道管路の点検・調査ドローンデモンストレーション
R5.10.27	美唄市	建物診断セミナー
R5.11.22	オンライン	オンラインシンポジウム 「地方でのインフラメンテナンスを考える」
R6.3.14	オンライン	オンラインシンポジウム 「インフラメンテナンスの持続可能性の確保に向けて」
R6.9.10	旭川市	下水道管路の点検・調査ドローンデモンストレーション
R6.11.18	オンライン	オンラインシンポジウム 「地方でのインフラメンテナンスを考える」

Ｒ５年度開催のイベント内容①

下水道分野に携わる地方公共団体の職員向けに「下水道管路の点検・調査ドローン デモンストレーション」を9月12日(火)に帯広市で開催しました♦

日　時：令和5年9月12日（火）13:10～15:00
参加者：１１自治体 ３６名

　インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム水インフラ他施設グループ（主に上下水道等を対象）では、道内自治体が抱える共通課題である「技術者不足」の解決に寄与する技術紹介として、帯広市の協力の下、実際の下水管路を用いた点検・調査ドローンのデモンストレーションを開催しました。
　今回、デモンストレーションで紹介した技術は、株式会社ＮＪＳが開発し、第２回「インフラメンテナンス大賞」国土交通省特別賞を受賞した閉鎖性空間点検調査ドローン「AirSlider® Fi4」の発展型で、管路内に流水がある状態で点検調査可能な技術です。
　なお、本技術は下水道管路以外（上水道、河川事業等）でも点検調査が可能であり、様々な分野で実績が増えております。

開会挨拶

ドローンの各部位の説明

ドローンの操作手順について

デモンストレーション

管路内調査映像視聴

公共施設の管理に従事する市町村職員の基礎知識を深めるための「建物診断セミナー」を開催しました

日　時：令和5年10月27日（火）13:30～16:30
参加者：9自治体17名

インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム公共施設・住宅グループでは、公共建築物を事務職員などの専門外の職員が管理せざるを得ない状況を少しでも改善すべく、公共施設の管理に従事する市町村職員の基礎知識を深めるための建物診断セミナーを美唄市協力のもと開催しました。

○老朽化診断のポイント

西川　忠氏
（札幌市立大学　デザイン学部･大学院デザイン研究科　教授）

横山　隆氏
（株式会社開発工営社　総合技術本部）

○実際の構造物を用いたレクチャー（屋外）

屋上排水のチェック

サッシ廻りシーリングのチェック

ひび割れ確認

コンクリートの凍害確認

タイルの打音検査

外壁塗装のチェック

○参加者の感想（アンケートより一部抜粋）

・予算編成時に現地確認する際に、見るべき個所を学ぶことが出来ました。
・公営住宅の建替を検討しているので、気候変動に対処した住宅づくりを検討する必要性を理解出来ました。
・屋根、壁、タイルなど業務担当でもチェックできる方法を教えてもらい、今後施設を見る際に役立つと思います。

Ｒ５年度開催のイベント内容③

「地方でのインフラメンテナンスを考える」
北海道フォーラム　シンポジウムを開催！

日時：令和5年11月22日（水）14:00～16:30　参加者：約300名
配信：TKP札幌駅カンファレンスセンター3B及びMicrosoftTeamsによるオンライン配信

公共インフラ施設の適切なメンテナンスを継続するため、インフラ施設の現状を確認し、メンテナンスのノウハウや好事例などを紹介するとともに、インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラムの取組みを周知し、課題解決に向けた機運を高めました。北海道フォーラムとしては、昨年度に引き続きオンラインによるイベントの開催と致しましたが、北海道内各地や道外から多くの方にご参加頂きました。

【開会挨拶】

栗田 悟氏
（北海道フォーラム企画委員長・(一社)北海道建設業協会副会長）

【講演①】

内藤　勲氏
（寒地土木研究所　寒地保全技術研究グループ　耐寒材料チーム　総括主任研究員）

【講演②】

稲垣　裕亮氏
（株式会社NJS　執行役員インスペクション開発担当兼開発本部ドローン開発部長）

【講演③】

横山　隆氏
（北海道フォーラム　公共施設・住宅グループ・株式会社開発工営社　技術顧問）

【講演④】

高畠　佑樹氏
（国土交通省　総合政策局　公共事業企画調整課　情報企画係長）

【講演⑤】

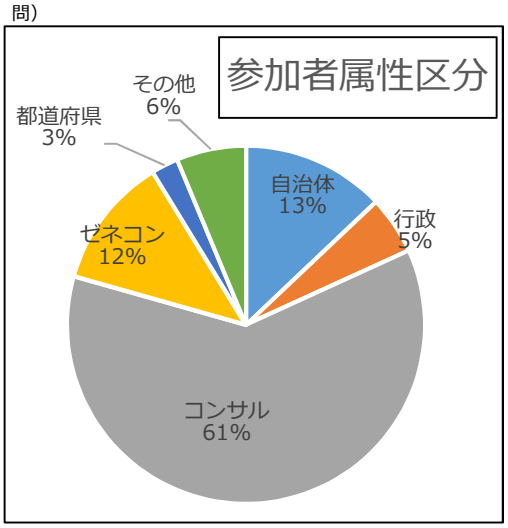
兵庫　利勇氏
（国土交通省　北海道開発局　事業振興部　技術管理課　専門官）

【総括】

高野　伸栄氏
（北海道フォーラムリーダー・北海道大学大学院工学研究院　教授）

【司会】

中島　英治氏
（北海道フォーラム　企画委員・伊藤組土建株式会社）



開会挨拶
栗田　悟氏（北海道フォーラム企画委員長(一社)北海道建設業協会副会長）

講演①　寒冷地におけるコンクリート補修の留意点と持続性向上技術
内藤　勲氏（寒地土木研究所 寒地保全技術研修グループ 耐寒材料チーム 総括主任研究員）

講演②　閉鎖性空間等の点検調査用ドローンの紹介
稲垣　裕亮氏（(株)NJS 執行役員インスペクション開発担当兼開発本部ドローン開発部長）

講演③　公共建築物メンテナンスの課題と解決のヒント
横山　隆氏（北海道フォーラム公共施設・住宅グループ）

講演④　インフラメンテナンスにおける新技術活用の取組について
高畠　佑樹氏（国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 情報企画係長）

講演⑤　北海道開発局における現場ニーズと技術シーズのマッチングの取組
兵庫　利勇氏（国土交通省 北海道開発局 事業振興部 技術管理課 専門官）

総括
高野　伸栄氏（北海道フォーラムリーダー 北海道大学大学院工学研究院　教授）

Ｒ５年度開催のイベント内容④

R5年度　シンポジウム
『インフラメンテナンスの持続可能性確保に向けて』
～官民連携の推進を学ぶ～

日時　：令和6年3月14日（木）14:30～17:00
参加者：２１名（対面）４８名（WEB）
＜８自治体１２名＞

　インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム自治体支援グループでは、北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会との共催により、自治体のインフラメンテナンスについて議論するシンポジウムを開催しました。
　本シンポジウムでは、人材不足や厳しい財政状況にある地方自治体のインフラメンテナンスにおいて、その持続可能性確保へ向けた支援策、地方自治体の工夫、官民連携の推進等について学びました。

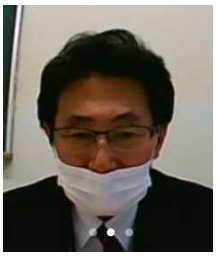
○開会挨拶

高野　伸栄氏
（北海道フォーラムリーダー
・北海道大学大学院工学研究院　教授）

○講演１

伊藤　生郎氏
（（一財）北海道建設技術センター建築部長

○講演２



佐野　元宏氏
（旭川市建築部
公共建築課 主幹）

○講演３

石田　悦一氏
（㈱道銀地域総合研究所　執行役員 主席研究員）

○パネルディスカッション

【コーディネーター】
縄田　健志

【パネラー】
伊藤　生郎　氏
佐野　元宏　氏
石田　悦一　氏

○閉会挨拶

栗田　悟氏
（北海道建設業協会副会長兼
北海道フォーラム企画委員長）

開会挨拶：北海道大学大学院工学研究院　教授　高野 伸栄
（北海道土木技術会　建設マネジメント研究委員会委員長、北海道フォーラムリーダー）
講　　演1：「北海道建設技術センターが実施する市町村向けの建築事業支援」
伊藤 生郎（（一財）北海道建設技術センター 建築部長）
講　　演2：「旭川市新庁舎建設における工夫」
佐野 元宏（旭川市建築部　公共建築課 主幹）
講　　演3：「インフラメンテナンスの持続可能性確保に資する官民連携(PPP/PFI)の推進について」
石田 悦一（㈱道銀地域総合研究所　執行役員 主席研究員）
パネルディスカッション
・コーディネーター　縄田　健志（北海道フォーラム自治体支援グループ）
閉会挨拶　（一社）北海道建設業協会　副会長　栗田　悟
（北海道フォーラム企画委員長）

R6年度開催のイベント内容①

下水道管路の点検調査ドローンデモンストレーションを9月10日(火)に旭川市で開催しました！！

インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム水インフラ他施設グループ(主に上下水道等を対象)では、道内自治体が抱える共通課題である「技術者不足」の解決に寄与する技術紹介として、旭川市水道局の御協力の下に実際の下水道管路を用いた点検・調査ドローンのデモンストレーションを開催しました。
今回、デモンストレーションで紹介した技術は、株式会社NJSが開発し、第2回「インフラメンテナンス大賞」国土交通省特別賞を受賞した閉鎖性空間点検調査ドローン「AirSlider® Fi4」の発展型で、管路内に流水がある状態で点検調査可能な技術です。
本技術は下水道管路以外でも点検調査が可能であり、様々な分野で実績が増えつつあるとのことです。

開会挨拶

ドローン全景と管路内取得映像の状況

デモンストレーション

管路内調査取得画像(上部:前面・下部:左，上，右)

管路内調査映像視聴

日　　時:令和6年9月10日(火)13:00～16:00
開催場所:亀吉雨水ポンプ場内
(旭川市亀吉1条3丁目2－1)

参加者:24団体75名
(18市町村54名のほか、振興局9名やコンサルタント会社より12名と多数参加)

Ｒ６年度開催のイベント内容②

「地方でのインフラメンテナンスを考える」
北海道フォーラム　シンポジウムを開催！

日時：令和6年11月18日（月）14:00～16:50　参加者：約400名
配信：TKP札幌駅カンファレンスセンター3B及びZoomによるオンライン配信

公共インフラ施設の適切なメンテナンスを継続するため、インフラ施設の現状を確認し、メンテナンスのノウハウや好事例などを紹介するとともに、インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラムの取組みを周知し、課題解決に向けた機運を高めました。北海道フォーラムとしては、昨年度に引き続きオンラインによるイベントの開催と致しましたが、北海道内各地や道外から多くの方にご参加頂きました。

【開会挨拶】

栗田 悟氏
（北海道フォーラム企画委員長・(一社)北海道建設業協会副会長）

【講演①】

藤川　大輔氏
（(一財)　北海道建設技術センター　市町村支援部　市町村支援課）

【講演②】

田中　芳章氏
（(一社) 日本水中ロボット調査清掃協会 会長）

【講演③】

横山　隆氏
（北海道フォーラム　公共施設・住宅グループ・株式会社開発工営社　技術顧問）

【講演③】

関　信之介氏
（札幌市立大学大学院デザイン研究科）

【講演④】

縄田　健志氏
（北海道フォーラム　自治体支援グループ・西江建設株式会社　常務取締役）

【講演⑤】

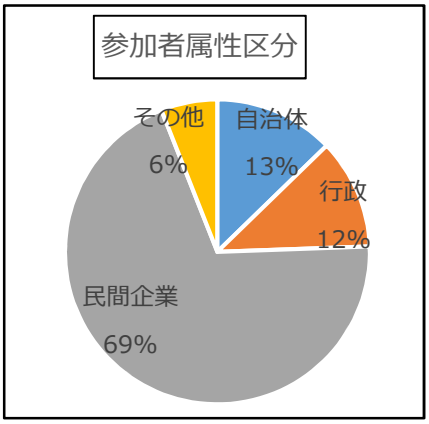
倉田　紘平氏
（国土交通省　総合政策局　公共事業企画調整課　情報企画係長）

【総括】

高野　伸栄氏
（北海道フォーラムリーダー・北海道大学大学院工学研究院　教授）

【司会】

河村　巧氏
（北海道フォーラム企画委員・岩田地崎建設株式会社）



開会挨拶　栗田　悟氏（北海道フォーラム企画委員長(一社)北海道建設業協会副会長）

講演①　北海道市町村橋梁点検マニュアル(案)改訂について
藤川　大輔氏（一般財団法人　北海道建設技術センター　市町村支援部　市町村支援課）

講演②　水中ロボットによる配水池の不断水工法での調査及び清掃
田中　芳章氏（一般社団法人 日本水中ロボット調査清掃協会 会長）

講演③　道内市町村における公共建築物の維持保全の現状と将来への提言
横山　隆氏（北海道フォーラム公共施設・住宅グループ）
関　信之介氏（札幌市立大学大学院　デザイン研究科）

講演④　地域PFアンケート結果、他府県におけるPFの運営内容例
縄田　健志氏（北海道フォーラム　自治体支援グループ）

講演⑤　インフラメンテナンスにおける新技術導入に向けた取り組み
倉田　紘平氏（国土交通省　総合政策局公共事業企画調整課　情報企画係長）

総括　高野　伸栄氏（北海道フォーラムリーダー 北海道大学大学院工学研究院　教授）

北海道フォーラムＲ５年度活動diary（上半期）

4月／APRIL

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10	11	12	13	14
17	18 ②G会議	19	20	21
24 ④G会議	25	26	27	28

5月／MAY

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8	9	10	11	12 代表者会議
15	16	17	18	19
22	23 ④G会議	24	25	26
29	30	31		

6月／JUNE

月	火	水	木	金
			1	2
5	6	7	8	9
12	13	14	15	16
19	20	21	22 代表者会議	23
26	27	28	29	30

7月／JULY

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10	11	12	13	14
17	18	19	20	21
24	25	26	27	28 ①G会議
31				

8月／AUGUST

月	火	水	木	金
	1	2	3	4
7	8	9	10	11
14	15	16	17	18
21	22	23	24	25
28	29	30	31 ②G会議	

9月／SEPTEMBER

月	火	水	木	金
				1
4 総括企画会議	5	6	7	8
11	12 インフラメンテナンス大賞技術デモンストレーション ②G	13	14	15
18	19	20	21	22
25 ④G会議	26	27	28	29

【凡例】：イベント　○：会議等　　：代表者会議等　　：グループ会議

①：道路構造物グループ、②水インフラ他施設グループ、③舗装グループ、④公共施設・住宅グループ、⑤自治体支援グループ

北海道フォーラムＲ５年度活動diary（下半期）

10月／OCTOBER

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20 代表者会議
23	24	25	26	27 建物診断セミナー ④G ⑤G会議
30	31			

11月／NOVEBER

月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20	21	22 オンライン シンポジウム	23	24
27	28	29	30	

12月／DECEMBER

月	火	水	木	金
				1
4	5	6	7	8
11	12	13	14 ⑤G会議	15
18	19	20	21	22
25	26	27	28	29

1月／JANUARY

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8	9	10	11	12
15	16	17 ⑤G会議	18	19
22	23	24	25	26
29	30 ⑤G会議	31		

2月／FEBRUARY

月	火	水	木	金
			1	2
5	6	7	8 ②G会議	9
12	13	14	15	16
19	20	21	22	23
26	27	28	29	

3月／MARCH

月	火	水	木	金
				1
4 ⑤G会議	5	6	7	8
11	12	13	14 自治体支援シンポジウム ④G会議	15
18	19	20	21	22
25	26	27	28 代表者会議	29

【凡例】：イベント　○：会議等　：代表者会議等　：グループ会議

①：道路構造物グループ、②水インフラ他施設グループ、③舗装グループ、④公共施設・住宅グループ、⑤自治体支援グループ

北海道フォーラムＲ６年度活動diary（上半期）

4月／APRIL

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8	9	10	11	12
15	16	17	18	19 寒冷地におけるコンクリートの長寿命化　①G
22	23	24	25	26 ⓪G会議
29	30			

5月／MAY

月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7	8 ②G会議	9	10
13	14	15	16	17 ①G会議
20	21 ④G会議	22	23	24
27	28	29	30	31

6月／JUNE

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10	11	12	13	14
17	18	19 代表者会議	20	21
24	25	26	27	28

7月／JULY

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8	9	10	11	12 ②G会議
15	16	17	18	19
22	23	24	25	26
29 ④G会議	30	31		

8月／AUGUST

月	火	水	木	金
			1	2
5	6	7	8	9
12	13	14	15	16
19	20	21	22	23
26	27	28	29	30

9月／SEPTEMBER

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10 インフラメンテナンス大賞技術デモンストレーション　②G	11	12	13 総括企画会議
16	17	18	19	20
23	24	25	26	27
30				

【凡例】：イベント　○：会議等　：代表者会議等　：グループ会議

①：道路構造物グループ、②水インフラ他施設グループ、③舗装グループ、④公共施設・住宅グループ、⑤自治体支援グループ

北海道フォーラムＲ６年度活動diary（下半期）

10月／OCTOBER

月	火	水	木	金
	1	2	3	4
7	8	9	10	11
14	15	16	17	18
21	22	23	24	25
28	29 ⑤G会議	30	31	

11月／NOVEBER

月	火	水	木	金
				1
4	5	6	7	8
11	12	13 ②G会議	14	15
18 オンライン シンポジウム	19	20	21	22
25	26	27	28	29

12月／DECEMBER

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10	11	12 総括企画会議	13
16	17	18	19	20
23	24	25	26	27
30	31			

1月／JANUARY

月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20 ④G会議	21	22	23	24
27	28	29	30 ②G会議	31

2月／FEBRUARY

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10	11	12	13	14
17	18	19	20	21
24	25	26	27	28

3月／MARCH

月	火	水	木	金
3	4 代表者会議	5	6	7
10	11	12	13 ⑤G会議	14 ②G会議
17	18	19	20	21
24	25	26	27 ④G会議	28
31				

【凡例】：イベント　○：会議等　：代表者会議等　：グループ会議

①：道路構造物グループ、②水インフラ他施設グループ、③舗装グループ、④公共施設・住宅グループ、⑤自治体支援グループ

【Special Thanks】

■一般財団法人沿岸技術研究センター		
一般財団法人沿岸技術研究センター （初代北海道フォーラムリーダー）		横田　弘
■ＳＩＰ北海道地域実装研究グループ		
国立大学法人 北海道大学大学院工学研究院 北海道大学公共政策大学院	教授	高野　伸栄
	客員教授	高松　泰
	特任助手	田中　みどり
国立大学法人 北見工業大学工学部	教授	三上　修一
	准教授	富山　和也
国立大学法人 室蘭工業大学大学院	教授	木幡　行宏
	准教授	小室　雅人
■国立研究開発法人土木研究所		
寒地土木研究所	監査役	目黒　聖直 （北海道小町村再生研究会）
寒地保全技術研究グループ 耐寒材料チーム	総括主任研究員	内藤　勲
■地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部		
地域建築総合研究所	部長	松村　博文
	研究主幹	谷口　円
	主査	牛島　健

※所属・役職は当時のものです。

【Special Thanks】

■企業・団体

アトリエオンド一級建築士事務所		大島　亘
宇宙技術開発株式会社		伊藤　明彦
ａ－ｓｔｙｌｅ株式会社	代表取締役	新美　明菜
株式会社ＮＪＳ	ﾄﾞﾛｰﾝ開発部長	稲垣　祐亮
株式会社ＫＩＴＡＢＡ	代表取締役	神長　敬
	常務取締役	窪田　映子
	東京事務所長	内匠　庸介
国際航業株式会社		山本　晃嗣
株式会社コンパクトシティ	代表取締役	田宮　功三
株式会社仕庵	代表取締役	簡　孝充
中小下水道未来構想研究所	代表	高橋　正宏
株式会社二十一世紀総合研究所	特任審議役	木本　晃
日本工営株式会社		大堀　文彦
日本スペースイメージング株式会社		鈴木　研二
日本電気株式会社		石井　考和
北海道銀行　地域振興公務部	部長	辻　英樹
	調査役	大道　巧
	調査役	舟橋　大祐
一般財団法人　北海道建設技術センター	企画部次長	大村　和史
	事務局長	佐野　修
	支援部次長	福士　勉
一般社団法人 北海道産学官研究フォーラム	副理事長	藤原　達也
富士通(株)第四システム事業本部		沢崎　直之
株式会社エスイーシー		小野　雅晴
株式会社南組	常務取締役	南　　真樹
	保守事業部長	鈴木　久永

※所属・役職は当時のものです。

■地方公共団体

北海道、札幌市、函館市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、稚内市、千歳市、恵庭市、石狩市、北広島市、当別町、白老町、苫小牧市、厚真町、長万部町、浦臼町、美唄市

【インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム　ホームページ】

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousei/splaat000001ckwg.html

北海道フォーラムの「イベント情報」や
「開催結果、取組状況」がご覧いただけます。

【制作・編集】インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム 一同

北海道大学大学院工学研究院　教授　高野 伸栄
一般社団法人北海道建設業協会　副会長　栗田 悟
㈱ドーコン、㈱構研エンジニアリング、㈱シビテック、 ㈱ノース技研、勇建設㈱、ニチレキ㈱、積水ハウス㈱、西江建設㈱、伊藤組土建㈱、コンクリート・鋼構造物超耐久化工法研究会、大日本ダイヤコンサルタント㈱、 ㈱メイセイエンジニアリング、㈱東京設計事務所、㈱土木技術コンサルタント、東亜道路工業㈱、北電総合設計㈱、㈱開発工営社、西松建設㈱、岩田地崎建設㈱、 ㈱中山組、北王コンサルタント㈱、地崎道路㈱、サンエスホールディングスグループ、㈱ティーネットジャパン、 NPO法人公共環境研究機構、嵯峨秀栄測量設計㈱

【協力】国土交通省北海道開発局

※掲載しているデータや、所属役職等は開催当時のものであり、現在と異なる場合があります。